

近江八幡混声合唱団 第9回定期演奏会



2016 5/15 (日) 14:00開演
安土文芸セミナーヨ

主催：近江八幡混声合唱団

後援：近江八幡市 近江八幡市教育委員会 近江八幡市文化協会 近江八幡市音楽連盟

ご挨拶

近江八幡混声合唱団 団長 山本康弘

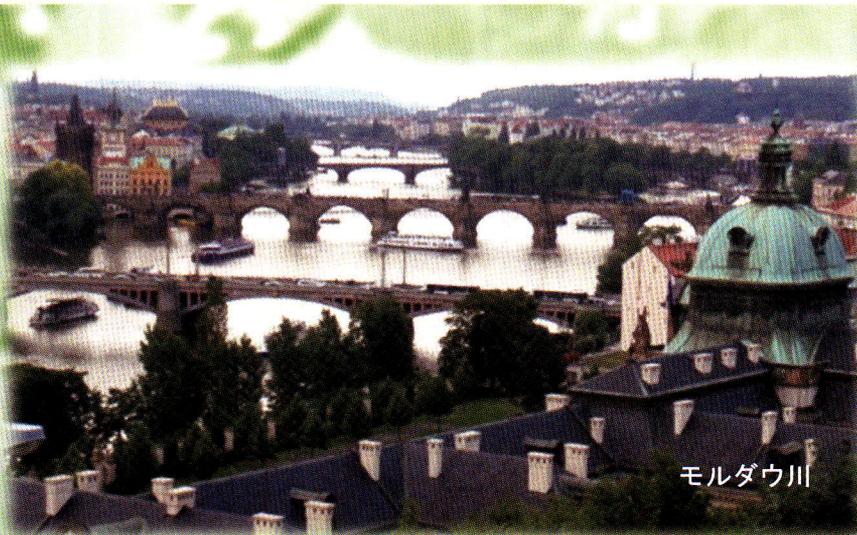


本日は 近江八幡混声合唱団 第9回演奏会へのご来場、厚く御礼申し上げます。

当合唱団は市内唯一の混声合唱団として 2004年 32名で結成、スタートし以後8回の演奏会を開催してまいりました。6年前、第5回演奏会は当セミナリヨで開催し、感動的なパイプオルガンの伴奏で宗教曲を歌い、2011年のファミリーコンサートでは東北地方の地震、津波、原発災害に想いを馳せて 精一杯の心を歌に込めました。そして 2年前の10周年演奏会は10年間の歩みごと、フィナーレでは力強い太鼓の音とともに全員で江州音頭を歌い上げました。

当合唱団は、経験者と初心者が混在しておりますが皆歌うことを愛しており、本日もこうしてこの場に立てることは本当に嬉しく感謝であります。これからも市民合唱団として新たに加わった若い仲間たちと共に歌い続けてゆきたく思っております。人々の暮らしへの不安がつり、世界平和が遠く、そんな昨今ですが顔をあげ、歌を歌い続けて、明るく美しい未来へと歩んでいきたいと願っています。

今までのお支えを深く感謝申し上げます。今後とも、更なるご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



モルダウ川

【曲目紹介】

- ・証城寺の狸囃子： 皆さん良くご存知の曲です。狸がブラジルに旅行したかのような、サンバ風のアレンジの意外性をお楽しみください。
- ・フィンランディア： この曲は祖国フィンランドの美しい自然を象徴した賛歌であり隣国の圧迫に耐えぬいてきた祖国に対する頌歌でもあります。「フィンランディア賛歌」として準国歌のように愛唱されています。
- ・モルダウ： 原曲「モルダウ」を含む連作交響詩「わが祖国」は全6曲からなり、この曲はその第2曲で祖国の姿がモルダウ川の流れに沿って描かれています。ボヘミア独立と繁栄の日が来ることを願うスメタナの深い思いが込められています。

プログラム

第1部 日本の歌

赤い鳥小鳥	作詞:北原白秋	作曲:成田為三	編曲:寺嶋陸也
てるてる坊主	作詞:浅原鏡村	作曲:中山晋平	編曲:寺嶋陸也
赤い靴	作詞:野口雨情	作曲:本居長世	編曲:寺嶋陸也
証城寺の狸囃子	作詞:野口雨情	作曲:中山晋平	編曲:松平 敬

第2部 世界の歌

フィンランディア	作詞:堀内敬三	作曲:ジーン・シベリウス	
故郷の人々	作詞:堀内敬三	作曲:S.C.フォスター	
サンタ・ルチア	作詞:小松 清	ナポリ民謡	編曲:名田綾子
モルダウ	作曲:スメタナ	編曲:岩河三郎	補編曲:大橋久子

第3部 パイプオルガンの調べにのせて

パイプオルガン演奏 城奈緒美

「ロンドンデリー・エア」による前奏曲 作曲:ローズゾーン

小フーガト短調 BWV578 作曲:J.S.バッハ

パイプオルガンと共に

アヴェ・マリア 作曲:アルカデルト

アヴェ・マリア 作曲:江上考則

休憩

第4部 八混し歌の玉手箱

出発の歌	作詞:及川恒平	作曲:小室 等	編曲:信長貴富
早春の淡路島	作詞・作曲:北村昌治	編曲:吉田裕子	
大阪ラブソディー	作詞:山上路夫	作曲:猪俣公章	編曲:信長貴富
いつでも夢を	作詞:佐伯孝夫	作曲:吉田 正	編曲:古寺ななえ
まつり	作詞:なかにし礼	作曲:原 譲二	編曲:遠藤謙二郎
	太鼓:深尾勝義		

《プロフィール》

大橋 久子(指揮)



滋賀県立石山高等学校を経て、相愛女子大学音楽学部声楽科卒業。鈴木操、木川田誠各氏に師事。1977年渡欧し、モーツァルテウム音楽院にて、アーリン・オージェ氏に師事。現在、滋賀県立八幡商業高等学校非常勤講師を勤めるとともに、あかね児童合唱団、コーラスみずぐき、コーラスよし笛、コーラスレインボー、ハートランドレディース、びわ湖八幡ロータリークラブ同好会「におの声」、近江八幡混声合唱団を指導。滋賀県青少年少女合唱連盟理事。

寺嶋 奈緒(ピアノ)



滋賀県立石山高等学校音楽科、大阪音楽大学短期大学部ピアノ科卒業。福留真循、大谷正和、南沢玲子、柿原宗雅各氏に師事。コーラスみずぐき、びわ湖八幡ロータリークラブ同好会「におの声」、近江八幡混声合唱団等のピアニスト。現在、ピアノ教室でピアノ指導の他、ライリッシュオカリナ連盟認定講師として、滋賀甲賀の会オカリナ教室でオカリナを指導。

城 奈緒美(文芸セミナリヨ専属オルガニスト)



神戸女学院音楽部パイプオルガン専攻卒業。滋賀大学大学院経済学研究科修士課程修了。オルガンを井上圭子氏に師事。スイス、スペイン、イギリスなどの国際オルガンアカデミーにて研鑽を積む。文芸セミナリヨを中心に国内コンサートホール等で演奏活動を行う。今年(6月)、近江八幡市の姉妹都市 イタリア・マントヴァ市でマントヴァ室内楽フェスティバルへ招聘されている。

深尾 勝義(太鼓)



1200年も続く太鼓祭りの響きを聴きながら育った私は、まつりの太鼓に引きつけられます。江州音頭も和太鼓のリズムと共に楽しく弾む湖国芸能です。八混の皆さんに、『弾む』『楽しい』『まつり』らしい太鼓で、皆さんにご迷惑をかけず盛り上がるように努力します。

《団員紹介》

- ソプラノ** 植田承子、梅田直子、大西久子、岡田なを子、奥川晴恵、片山祐里、鎌田弘美、木村典子、木村菫女、嶋影淳子、島田茜、嵐本正子、多田羅敏子、筒井良美、名倉恵美子、平内幸子、福沢義巳、福森恵子、増田ひとみ、村田みよ子、和田はつ子、
- アルト** 飯田浩子、石井喜代子、犬井道子、上地絹子、久保紀子、小泉和世、設楽厚子、杉浦ひで、竹村敬子、立花初美、田中愛子、知識良子、西川洋子、濱田千春、堀川宜子、吉村和子、吉村芳子
- テノール** 古閑友士、品川壮、角野雅浩、竹内清臣、坪井清、福知浩一、細井昇、山本康弘、
- バス** 植田孝司、小澤健二、北村昌治、佐伯徹、鹿田都司、関司裕輝、西澤道明、堀政雄、松岡章、村西耕爾